

東日本大震災

名古屋って、あったかくて
いいまちだなあ。

寄り添い、ゆっくりと、
でも全力で応援します。



被災者支援ボランティアセンターなごやお知らせ

平成31年1月25日発行 (第104号)

本お知らせは、名古屋市に避難されてきた方に役立つ情報をお伝えするため、毎月25日に発行しています。みなさんのご意見・ご感想をお待ちしています

発行：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや
〒462-8558 名古屋市北区清水4-17-1 5階
名古屋市社会福祉協議会 ボランティアセンター内
電話：070-5587-7153(平日9~17時)

FAX:052-917-0702

Eメール shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp

昨年に引き続き、インフルエンザが猛威を奮っていますが、特に愛知県は、平成31年第2週における定点医療機関当たりのインフルエンザ患者の報告数が75.38となり、全国の都道府県で1番高い数値だそうです。愛知県では現在もインフルエンザ警報発令中です。充分注意してください!

今年のバレンタインデーは!?

2月14日は、バレンタインデーです。街には、美味しそうなチョコレートが色々なところで見られますね。バレンタインデーの起源は、西暦3世紀。ローマ帝国時代です。当時は強兵策の1つとして兵士達の結婚が禁止されていましたが、これに反対したバレンタイン司祭が皇帝の命に反し多くの兵士達を結婚させましたが、これに皇帝が怒り、司祭は処刑されたそうです。その司祭の死を悼む行事が後に、愛の告白の日になったそうです(かなりはしょりました)。

西ヨーロッパなどでは、男性も女性も、恋人や親しい人に、花やケーキ、カードなど様々な贈り物を贈るそうですが、日本では、女性から男性へ愛の贈り物としてチョコレートを送ります。

これは、昭和30年代に製菓会社がマスコミを通してバレンタイン企画をアピールし、チョコレートの販売を促進したのを受け、昭和40~50年代に徐々に盛り上がり、今のような盛んな行事になったそうです。

今、名古屋でも色々なお店でバレンタインセールなどが行われていますが、名古屋駅にある百貨店のバレンタイン企画は、売上高24億円で、日本一の売上だそうです。すごいですね!!

「本命チョコ」「義理チョコ」だけでなく、多様化するバレンタインチョコレートには、お世話になった人に送る「世話チョコ」や男性から女性へ送る「逆チョコ」、自分へのごほうびとして自分に送る「自分チョコ」など色々あるみたいです。

チョコレートは、抗酸化力のあるポリフェノールなど健康に良いとされる成分が入っているそうです。疲労回復、エネルギー源として、嗜んでみてはどうでしょう?(ただし、程ほどに!)

いずれも、被災者支援ボランティアセンターまで事前にお申し込みください。

「革工芸の会」

革細工(レザークラフト)をボランティアさんに教えてもらいながら行います

日時:平成31年2月19日・26日、3月5日・19日、
全て火曜日 10時15分~12時

会場:名古屋市総合福祉会館6階 録音編集室
(北区清水四丁目17-1 北区役所内)

持ち物:はさみ(よく切れるもの)、あればラジオペンチ
材料費:1回500円~(実費相当)

寺子屋 NIT!

名工大の現役大学生による学習支援

日時:平成31年2月22日(金)

平成31年3月 調整中

17時30分~(1時間半程度) 正門前集合

会場:名古屋工業大学

(昭和区御器所町、最寄り駅:鶴舞)

内容:学校の宿題やドリル、テスト範囲の勉強など
筆記用具は各自準備